

令和6年度後期

技能検定受検案内 技能五輪長野県地方大会(予選会)参加案内

○ 若年者の実技試験手数料減免の対象者が変更されました。【詳細は2ページ参照】

- 令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類から5類に変更されたことに伴い、長野県の技能検定実施における対応方針は以下のとおりとなります。
 - ① 受検申請は、原則として、郵送により受付いたします。
 - ② マスクの着用や手指消毒等の基本的な感染対策については、個人の判断に委ねることとします。
 - ③ 検温及び健康状態等申告書による健康状態等の確認は行いません。
 ※ただし、感染対策上又は試験実施上の理由等により、検定委員や立会人が協議のうえ必要であると判断した場合は、マスクの着用や検温及び健康状態等の確認を求めることがあります。
- 申請者が多数となった場合は、以下により実技試験の受検者数を制限させていただくことがあります。
 - ・長野県に在住又は在勤されている方を優先させていただきます。
 - ・定員を超えた場合又は定員を定めていない職種においても、申請者が多数となった場合は、受付期間終了後に抽選等の調整を行わせていただき、抽選を行った場合は申請された方への通知及び抽選となった職種名(作業名)を当協会のホームページでお知らせいたします。抽選に漏れた方の手数料はお返しいたしません。(定員のある職種(作業)は5ページ(2項参照))

- 技能検定は、働く人々の有する技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度で技能に対する社会一般の評価を高め、働く人々の技能と地位の向上を図ることを目的として、職業能力開発促進法に基づき実施されています。
- 技能検定の受付、試験の実施等の業務を各都道府県の職業能力開発協会が実施しています。
- 技能検定に合格された「特級、1級及び単一等級」の方は厚生労働大臣より、また、「2級及び3級」の方は長野県知事より合格証書が交付され、「技能士」の称号が与えられます。
- 技能検定は、長野県技能競技大会を兼ねており、技能検定合格者のうち実技試験成績優秀者は、長野県知事又は長野県職業能力開発協会会長から表彰されます。
- 本人確認のための提出書類
受検申請時の年齢に関係なく、本人確認書類(運転免許証、学生証、健康保険被保険者証等の写し等)の提出が必要となります。(16ページ参照)
- 実技試験問題の概要について
実技試験問題の概要は、右記の当協会ホームページを参照願います。<https://www.navada.or.jp>
- 特別の配慮を必要とする障がい者の方が受検申請をする場合は、受検申請時に当協会にご連絡ください。

受付期間 (土曜・日曜・祝日を除く)

令和6年10月7日(月)~10月18日(金)まで

*最終日の消印有効です。

	目	次
1	実施日程	2ページ
2	受検手数料	2ページ~
3	「シーケンス制御」職種の受検資格の取扱いについて	3ページ
4	実施職種(作業)及び実施日	4ページ~
5	受検申請の手続き	6ページ
6	受検票の送付	6ページ
7	合格発表及び合格通知等	7ページ
8	試験問題の公開	7ページ
9	正解の公開	7ページ
10	自己情報の開示	7ページ
11	表彰	7ページ
12	受検資格	8ページ
13	試験の免除資格	9ページ
	別表	10ページ
14	技能五輪長野県地方大会	11ページ
15	受検申請書・受検案内書等の請求と問い合わせ先、個人情報の保護	12ページ
16	技能検定についてよくある質問	13ページ
17	申請書記入例	14ページ~
18	年号対照・年齢・卒業年度早見表	18ページ
19	技能検定試験問題集申込用紙	19ページ
20	技能検定受検申請内容変更連絡書	20ページ
21	申請書提出時の確認事項	20ページ

長野県職業能力開発協会

〒380-0836 長野市大字南長野南県町 688-2

電話：026(234)9050(代) FAX：026(234)9280

1 実施日程

申請受付	令和6年10月7日(月)～10月18日(金) ・6ページ、「5 受検申請の手続き」を参照願います。
↓	
実技試験問題の公表	令和6年11月28日(木) ・当協会でご公表しますが、受検票に同封し送付します。
↓	
受検票の送付	令和6年12月中旬 ・12月中旬を過ぎても受検票が届かない場合は、当協会までお問い合わせください。
↓	
試験実施	試験の日時・場所は、受検票に記載し通知します。 ・4、5ページ、「4 実施職種(作業)及び実施日」を参照願います。
実技試験	令和6年12月5日(木)～令和7年2月16日(日)
学科試験	令和7年1月26日(日)、2月2日(日)、2月9日(日)
↓	
合格発表	令和7年3月14日(金) ・7ページ、「7 合格発表及び合格通知等」を参照願います。

2 受検手数料 (受検手数料は非課税です。ただし振込手数料などは課税対象です。)

受検級	年齢・在職・在校区分 (◎印が国・○印が県・☆印が国と県による減免対象)		受検手数料		
			実技試験	学科試験	計
特級・1級・単一等級	全年齢		18,200円	3,100円	21,300円
2級	23歳以上		18,200円	3,100円	21,300円
	23歳未満	在校生 注)5 ○	9,200円	3,100円	12,300円
		上記以外	18,200円	3,100円	21,300円
3級	23歳以上	在校生	12,100円	3,100円	15,200円
		上記以外	18,200円	3,100円	21,300円
	23歳未満	在職者 ◎	9,200円	3,100円	12,300円
		在校生 注)5 ☆	3,100円	3,100円	6,200円
		上記以外 ◎	13,700円	3,100円	16,800円

注) 1 「23歳未満の方」とは、次のいずれにも該当する方です。

(1) 実技試験を実施する日が属する年度の4月1日において23歳に達していない方

令和6年(2024年)4月1日において23歳に達していない方(平成13年(2001年)4月2日以降に生まれた方)
※申請時に、本人確認書類(運転免許証、学生証等の写し等)を必ず添付してください。

(2) 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第1の上欄の在留資格を持って在留する者以外の方

注) 2 「23歳以上の方」とは、注) 1 以外の方です。

注) 3 「在職者」とは、受検申請日において雇用保険法(昭和49年法律第116号)第4条第1項に規定する被保険者の方です。個人事業主の方は雇用保険の被保険者ではありません。

なお、確認のため、所属企業の在職証明等の提出を求める場合があります。

注) 4 「在校生」とは、次のいずれかに該当する方です。

(1) 職業能力開発促進法(昭和44年法律第64号)に規定する公共職業能力開発施設、職業能力開発総合大学の訓練生又は認定職業訓練施設の訓練生。ただし、短期課程の普通職業訓練又は専門短期課程若しくは応用短期課程の高度職業訓練を受けている方その他知事が別に定める方を除く。

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する高等学校又は中等教育学校の後期課程、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の生徒又は学生。

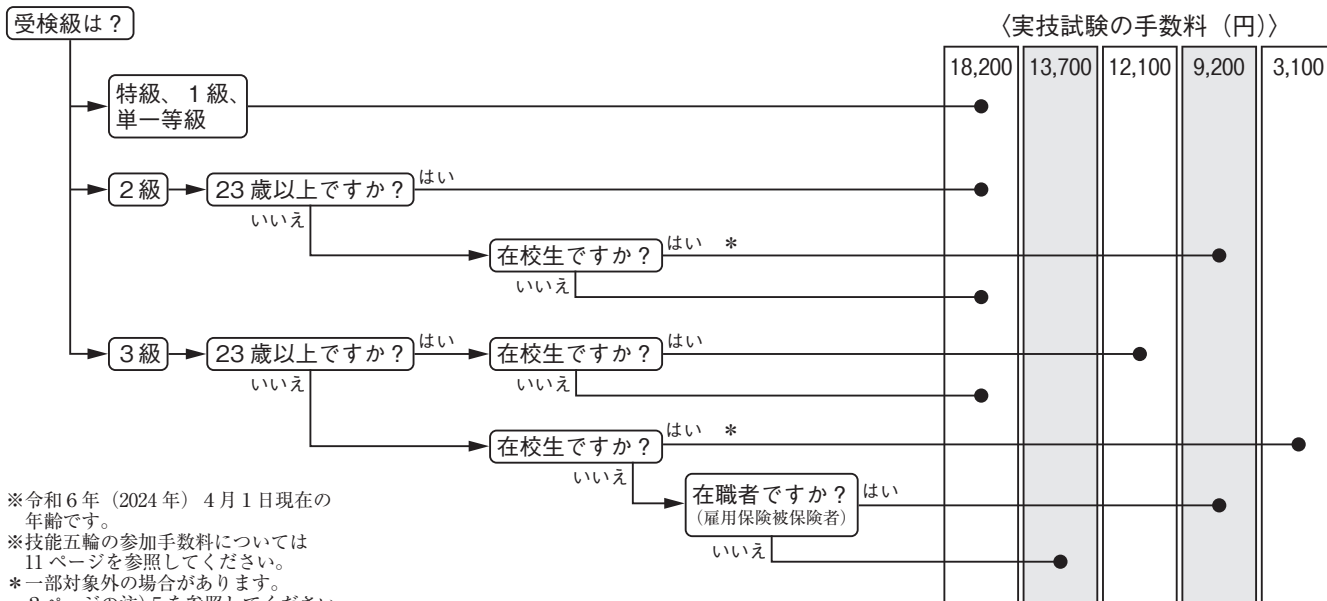
(3) 上記(1)または(2)の在職者。

注) 5 長野県在住又は長野県内の学校等の在校生が対象となります。(県外の学校等の在校生の方は対象外となるため2級実技試験の受検手数料は18,200円、23歳未満の3級実技試験の受検手数料は7,600円となります。なお、23歳以上の3級実技試験の受検手数料は県内・県外を問わず12,100円となります。)

注) 6 技能五輪長野県地方大会(予選会)に参加する方の参加手数料は11ページを参照してください。

注) 7 受検手数料は、申請書を受理した後は、受検をしない(試験に欠席する)場合でも、返金を致しませんので、ご承知おき願います。

実技試験の手数料 確認フローチャート



減免有無の境界日付

減免対象者：平成13年(2001年)4月2日以降に生まれた方																
和暦	平成13年												平成14年			
西暦	2001年												2002年			
月	1月	2月	3月	4月1日	4月2日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
減免有無	← 減免なし				減免あり →											

3 「シーケンス制御」職種の受検資格の取扱いについて

(1) 基本的な考え方

「シーケンス制御」職種は、これまで「電気機器組立て」職種（シーケンス制御作業）として実施されていたものが独立し、令和5年度から新職種として設置されたものです。そのため「電気機器組立て」職種（シーケンス制御作業）の合格者は、経過措置に定める場合を除き、「シーケンス制御」職種に合格したものとみなされません。

なお、新設職種の受検に必要な実務経験については、改正後のシーケンス制御職種に係るものであれば、令和4年度以前の経験を通算して差し支えないものとされています。

(2) 「電気機器組立て」職種（シーケンス制御作業）の合格者、および一部合格者への経過措置

上記のとおり旧職種「電気機器組立て」職種（シーケンス制御作業）の1級、2級又は3級に合格した方（技能士）は、新設の「シーケンス制御」職種の上位級の受検に必要な実務経験年数の短縮は認められませんが、経過措置により、「シーケンス制御」職種の1級、2級又は3級の学科試験および実技試験にそれぞれ合格したものとみなすことは差し支えないとされています。したがって、旧職種で合格された方（技能士）が、新設職種のD申請（学科試験及び実技試験両方免除）を行い、合格後、改めて実務経験年数短縮により上位級を受検することは可能です。

また、同様に一部合格者（学科合格・実技合格）についても、「シーケンス制御」職種の一部合格とみなされ、上位級の受検に必要な実務経験の短縮が認められます。（改正省令附則第三条第七項）

※「シーケンス制御」職種の受検資格の取扱いについてのQ&Aは、当協会のホームページをご覧ください。

〈<https://www.navada.or.jp>〉

この取扱いについてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

問い合わせ先：長野県職業能力開発協会 検定課
 電話：026-234-9050
 メール：kentei1@navada.or.jp

4 実施職種（作業）及び実施日

特級

職種番号	職種名	実技試験		学科試験	職種番号	職種名	実技試験		学科試験					
		計画立案等作業試験					計画立案等作業試験							
003	鑄造	2/2 PM	2/2 AM		141	半導体製品製造	2/2 PM	2/2 AM						
005	金属熱処理													
006	機械加工													
183	非接触除去加工													
114	金型製作													
007	金属プレス加工													
123	工場板金													
010	めっき													
012	仕上げ													
013	機械検査													
014	ダイカスト													
015	電子機器組立て													
016	電気機器組立て													
											25 職種			

1・2級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	実技試験			学科試験	備考
				製作等作業試験	判断等試験	計画立案等作業試験		
121	さく井	010	パーカッション式さく井工事	-	1/19	1/19 AM	2/2 PM	
		020	ロータリー式さく井工事	-	1/19	1/19 AM	2/2 PM	
004	鍛造	020	ハンマ型鍛造	後日決定	-	1/26 PM	1/26 AM	※2
123	工場板金	030	機械板金	後日決定	-	-	2/2 PM	定員数有り、※5
		040	数値制御タレットパンチプレス板金	後日決定	-	-	2/2 PM	定員数有り、※1※5
013	機械検査	010	機械検査	後日決定	-	1/26 PM	1/26 AM	
184	シーケンス制御	010	シーケンス制御	後日決定	-	1/26 PM	1/26 AM	定員数有り
141	半導体製品製造	010	集積回路チップ製造	-	1/26	-	2/9 AM	
162	プリント配線板製造	010	プリント配線板設計	-	1/26	-	2/9 AM	
		020	プリント配線板製造	-	1/19	-	2/9 AM	
160	鉄道車両製造・整備	060	走行装置整備	後日決定	-	-	2/2 PM	
		080	鉄道車両点検・調整	後日決定	-	-	2/2 PM	
019	時計修理	010	◎時計修理	後日決定	-	-	2/2 PM	
148	光学機器製造	020	光学機器組立て	後日決定	-	-	2/9 AM	
142	空気圧装置組立て	010	空気圧装置組立て	-	1/19	1/19 AM	2/9 PM	
077	農業機械整備	010	農業機械整備	後日決定	-	2/2 PM	2/2 AM	定員数有り
069	冷凍空気調和機器施工	010	◎冷凍空気調和機器施工	後日決定	-	2/2 PM	2/2 AM	※6
027	和裁	010	和服製作	後日決定	-	-	2/2 AM	
034	プレス	036	DTP	後日決定	-	-	2/9 AM	
071	製本	040	製本	後日決定	-	-	2/2 AM	※7
130	パン製造	010	パン製造	後日決定	-	-	2/2 PM	
151	菓子製造	020	和菓子製造		-	-	2/9 PM	学科のみ実施
099	みそ製造	010	みそ製造	後日決定	-	-	2/2 AM	定員数有り※2
038	建築大工	010	◎大工工事	後日決定	-	-	2/9 AM	
039	かわらぶき	010	かわらぶき	後日決定	-	-	2/9 AM	
046	配管	010	◎建築配管	後日決定	-	1/26 PM	1/26 AM	
074	型枠施工	010	型枠工事	後日決定	-	1級 1/26 PM	1/26 AM	
047	鉄筋施工	010	鉄筋施工図作成	1/19 AM	-	-	2/9 PM	
		020	鉄筋組立て	後日決定	-	-	2/9 PM	
157	コンクリート圧送施工	010	コンクリート圧送工事	-	1/19 AM	1/19 AM	2/9 PM	
086	防水施工	010	アスファルト防水工事	後日決定	-	-	2/2 AM	※2
		050	塩化ビニル系シート防水工事	後日決定	-	-	2/2 AM	※2
		090	改質アスファルトシート トーチ工法防水工事	後日決定	-	-	2/2 AM	※2
143	樹脂接着剤注入施工	010	樹脂接着剤注入工事	後日決定	-	-	2/9 AM	
050	ガラス施工	010	ガラス工事	後日決定	-	1級 1/26 PM	1/26 AM	
052	機械・プラント製図	015	◎機械製図CAD	1/26	-	-	2/2 AM	※3
075	金属材料試験	020	組織試験	後日決定	-	-	1/26 AM	
060	塗装	040	鋼橋塗装	後日決定	-	-	2/9 AM	
	31 職種		38 作業					

3 級

職種番号	職種名	作業番号	作業名	実技試験			学科試験	備考
				製作等作業試験	判断等試験	計画立案等作業試験		
062	造園	010	造園工事			-	2/2 PM	学科のみ実施
006	機械加工	010	普通旋盤	後日決定	-	-	2/9 AM	※4
013	機械検査	010	機械検査	後日決定	-	-	2/9 PM	
015	電子機器組立て	010	電子機器組立て		-	-	2/9 PM	学科のみ実施
016	電気機器組立て	030	配電盤・制御盤組立て	後日決定	-	-	1/26 AM	定員数有り
184	シーケンス制御	010	シーケンス制御	後日決定	-	-	1/26 AM	定員数有り
162	プリント配線板製造	010	プリント配線板設計	-	1/26	-	2/9 AM	
		020	プリント配線板製造	-	1/19	-	2/9 AM	
019	時計修理	010	時計修理	後日決定	-	-	2/2 PM	
069	冷凍空気調和機器施工	010	冷凍空気調和機器施工	後日決定	-	-	2/2 AM	
037	プラスチック成形	020	射出成形	後日決定	-	-	2/9 AM	
038	建築大工	010	大工工事	後日決定	-	-	2/9 AM	
	11 職種		12 作業					

- (1) この技能検定は、長野県技能競技大会を兼ねています。また、◎印の作業は技能五輪長野県地方大会（予選会）も合わせて兼ねています。2級技能検定申請者で技能五輪へ参加を希望される方は、「技能五輪長野県地方大会参加申請書」（黄色申請書）で受検申請書を提出してください。（この申請書により2級技能検定の受検を申請したことになります。）
詳細は11ページ：「14 技能五輪長野県地方大会（予選会）」の項を参照願います。
- (2) 備考欄「定員数有り」の実技試験受検者の定員は以下となっています。
機械板金作業（1級・2級合計：40名）、数値制御タレットパンチプレス板金作業（1級・2級合計：20名）、
シーケンス制御作業（1級・2級合計：42名、3級：70名）、農業機械整備作業（1級：18名、2級：24名）、
みそ製造作業（1級：32名、2級：35名）、配電盤・制御盤組立て作業（3級：20名）
- (3) 備考欄※1印 の数値制御タレットパンチプレス板金作業において、NCデータ作成機、自動プログラミング装置及び数値制御タレットパンチプレスは株式会社アマダ製を使用予定です。
- (4) 備考欄※2印 のハンマ型鍛造作業（1・2級）、みそ製造作業（1・2級）、アスファルト防水工事作業（1・2級）、塩化ビニル系シート防水工事作業（1・2級）、改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業（1・2級）の実技試験については、試験会場の制約等により長野県在住または在勤の方のみを対象とし、県外からの受検はできません。
- (5) 備考欄※3印 の機械製図CAD作業の実施については制約があります。
ア 実技試験会場は「長野県佐久技術専門学校」になります。住所：佐久市高柳346-4 電話番号：0267-62-0549
イ ハードウェア及びソフトウェアは全て持込みとなります。また、指定する出図用USBプロッタのドライバーをインストールする必要がありますので、申請の際当協会にお問い合わせください。
- (6) 備考欄※4印 の3級普通旋盤の実技作業は、実技試験用機械設備の関係で、受検者の所属事業主が、設備の提供と補佐員の派遣を了解している方に限り申請を受理しますが、実技試験会場は長野県内のみとさせていただきます。
- (7) 備考欄※5印 の機械板金作業および数値制御タレットパンチプレス板金作業の実技試験申請者は、動力プレス機械の金型の取付け等の作業に関し、労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本もしくは写しを試験当日に提示してください。
- (8) 備考欄※6印 の冷凍空気調和機器施工作業（1・2級）の実技試験申請者は、労働安全衛生法に基づくガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証等の資格証の原本を試験当日に提示してください。
- (9) 備考欄※7印 の製本作業の実技試験申請者は、動力プレス機械のシャーの刃部の取付け等の作業に関し、労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本もしくは写しを試験当日に提示してください。
- (10) 同時に2作業以上受検申請する場合は、事前に受検が可能かどうか、当協会にお問い合わせのうえ申請してください。
- (11) 受検者が著しく多い場合は、試験場の設備等の関係から受付期間中であっても受付を終了する場合があります。
また、著しく少ない場合は、実技試験の実施を取りやめることがあります。このような場合、当協会ホームページ上でお知らせいたします。（<https://www.navada.or.jp>）
なお、ご希望の方には、近県の公示状況をお知らせしますので、当協会にお問い合わせください。
- (12) 実技試験及び学科試験両方免除（受検区分D）で受検資格がある場合は、上記の職種（作業）以外の職種（作業）についても受付期間内において受検申請ができますので、当協会にお問い合わせください。
- (13) 特別の配慮を必要とする障がい者の方が受検申請をする場合は、受検申請時に当協会にご連絡ください。
- (14) 令和6年度（後期）技能検定学科試験、実技試験（判断等試験及び計画立案等作業試験）における関係法令、JIS等の各種規格等の記載に基づく出題については、原則として、令和6年4月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。ただし、職種（作業）ごとに、実作業の現場における状況等を勘案し、一般的に普及しているものに基づく場合もあります。

5 受検申請の手続き

(1) 申請書類

ア) 受検申請書……受検したい等級の申請用紙に、必要事項を「17 申請書記入例」(14ページ～)を参照のうえ、※印以外の全項目について記入してください。

(1 級を受検の際、2 級の申請書に記入した場合等は、受付できません。)

申請書は12ページの各職業能力開発施設にて配布しています。

イ) 本人確認書類……本人確認書類のコピーを受検申請書右下の本人確認書添付欄にノリ付けしてください。

(16ページの16項を参照)

ウ) 顔写真……申込前3ヶ月以内に撮影したもの(運転免許証写真サイズから5cm×4cmまでの大きさの写真の裏側に氏名、職種、級別を記入したもの。モノクロでも可)2枚を受検申請書にノリ付けしてください。

(実技試験及び学科試験両方免除(受検区分D)で受検申請をする場合に限り、写真は不要です。)

エ) 免除証明書……実技試験又は学科試験の免除を受けようとする者は、申請書にその資格を記入するとともに、証明する証書のコピーを必ず申請書に添付してください。(ノリ付けはしないでください。)

オ) 申請書添付用領収書……受検手数料を銀行振込みし、添付用領収書を申請書にノリ付けしてください。

(この添付用領収書のないとき、又は、この領収書に銀行領収印のない場合は、申請受け付けできません。)

受検手数料の納入方法

○銀行振込……当協会専用の振込み用紙に所定事項を記入したうえ、八十二銀行県庁内支店(普通口座 No.76406)あてに受検手数料を振込みしてください。

カ) 受検手数料一括振込み受検者名簿及び受検料内訳表……受検手数料を2人以上まとめて、銀行振込みをする場合は、明細を記入した「受検手数料一括振込み受検者名簿及び受検料内訳表」を必ず添付してください。

「受検手数料一括振込み受検者名簿及び受検料内訳表」は当協会ホームページ上からダウンロード可能です。

(2) 書類の提出

受検申請書類は、原則として郵送により受け付けます。

封筒の表面に「技能検定受検申請書在中」と朱書きし、書留により下記宛てに送付してください。)

〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2

長野県職業能力開発協会

やむを得ず持参する場合は、予めご連絡ください。

6 受検票の送付

(1) 申請書を受理した後、試験日時、試験会場を記載した受検票を12月中旬頃に受検申請書にご記入の現住所に送付します。住所の変更などがあった場合は20ページの連絡書によりご連絡をお願いします。

なお、12月中旬を過ぎても、受検票が届かない場合は当協会までお問い合わせください。

(2) 実技試験を申請した方には、実技試験問題(公表するものに限る。)を受検票と同時に送付します。

この問題は試験当日使用するものです。事前書込みの可否については、試験問題の注意事項をお読みください。

7 合格発表及び合格通知等

(1) 合格発表

令和7年3月14日（金）、長野県ホームページに合格者の受検番号を掲載いたします。

・長野県ホームページ

合格発表のURLは下記を参照、QRコードは右記を参照してください。



〈<https://www.pref.nagano.lg.jp/jinzai/sangyo/shiken/ginou/goukakuhappyou.html>〉

(2) 合格通知

技能検定合格者（学科及び実技両方合格者：技能士になる方）には長野県産業労働部産業人材育成課から、学科試験又は実技試験いずれか一方のみの合格者には、当協会から通知します。

（不合格の方には通知はいたしません。）

なお、特級については、実技試験又は学科試験いずれか一方のみに合格した方は、合格日より5年間に行われる同一職種に係る特級の技能検定において、合格した実技試験又は学科試験が免除になります。

1級、2級、3級、単一等級については現在のところ免除の有効年数制限はありません。

(3) 合格証書・技能士章

技能検定合格者（技能士になる方）には、長野県産業労働部産業人材育成課〔電話026-235-7202〕から、合格証書及び技能士章を送付します。

なお、送付の時期については、合格通知に併せて記載し、お知らせします。

《合格証書等の事業所あて送付について》

○ご希望に応じて、各個人の合格証等を、所属企業・団体等の事業所へまとめて送付します。

ご希望の場合は、令和6年10月18日（金）までに、「事業所あて送付申込書」を郵送、ファクシミリ送信又は電子メールによりお知らせください。郵送の場合、申請書と同封でもかまいません。「事業所あて送付申込書」は当協会ホームページ上からダウンロード可能です。

・郵送：〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2 長野県職業能力開発協会

・FAX：026-234-9280

・電子メール：kenteil@navada.or.jp

○この申し込みがない場合、合格証書等はすべて合格者本人あてに送付します。

8 試験問題の公開

学科試験問題及び中央職業能力開発協会が、公開を認めた統一実施実技問題については、試験終了後に公開となり受検者の持ち帰りが可能です。

また、受検者以外の方についても、試験終了後、当協会において1年間公開します。

9 正解の公開

学科試験及び統一実施実技問題の正解については、中央職業能力開発協会が公表したものに限り、試験実施翌日（職種によっては実施期間終了後）から1年間当協会でご覧が可能です。

また、原則として試験実施の翌日15時以降に中央職業能力開発協会のホームページに学科・計画立案等作業試験の試験正解が掲載されます。〈URL：https://www.javada.or.jp〉

10 自己情報の開示

合格発表日から1年間に限り、技能検定の結果（学科及び実技得点に限ります）を知ることができます。長野県産業労働部産業人材育成課（人材育成支援係）〔電話026-235-7202〕において直接本人にのみ開示しますので、運転免許証等、身分を証明するものを持参して開示請求をおこなってください。なお、個人情報保護法に基づき電話等での開示は行いません。開示を希望する場合は、事前にその旨の連絡を頂けるとスムーズに対応できます。

11 表彰

この技能検定は、長野県技能競技大会（特級を除く）を兼ねており、長野県内に在住、又は長野県内の事業所・職業訓練施設・学校等に所属している技能検定合格者（学科、実技両方合格者）のうち実技試験成績優秀者は、職種別（作業別）・級別に長野県知事又は長野県職業能力開発協会長から表彰されます。

12 受検資格

実務経験年数とは、修了証書、合格証書等の交付年月、あるいは該当実務に従事を開始した年月を起算日とし、申請書受付最終日現在までの検定職種に係る実務経験年数をいいます。

(単位 年)

受 検 対 象 者 (区 分) ※ 1	特 級	1 級		2 級		3 級	単一等級			
	1級の技能検定に合格後の実務経験(1級の合格証書の複写を添付すること)	1級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数	2級の技能検定に合格後の実務経験	3級の技能検定に合格後の実務経験	2級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数	3級の技能検定に合格後の実務経験	3級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数(※6)	単一等級の技能検定の受検に必要な実務の経験年数		
実務経験のみ	5	7	2	4	2	0	0 ※7	3		
専門高校卒業 ※ 2		6			0		0			
専修学校(大学入学資格付与課程に限る)卒業		5			0		0			
短大・高専・高校専攻科卒業 ※ 2		4			0		0			
専門職大学前期課程修了		6			0		0			
専修学校(大学編入資格付与課程に限る)卒業								4	0	0
大学卒業(専門職大学前期課程修了者を除く) ※ 2										
専修学校(大学院入学資格付与課程に限る)卒業										
専修学校 ※ 3		800時間以上			6		0	0 ※8	1	
又は各種学校卒業 (厚生労働大臣が 指定のものに限る)		1,600時間以上			5		0	0 ※8	1	
		3,200時間以上			4		0	0 ※8	0	
		短期課程の 普通職業訓練修了 ※ 4 ※ 9			700時間以上		6	0	0 ※5	1
普通課程の 普通職業訓練修了 ※ 4 ※ 9		2,800時間未満			5		0	0	0	1
		2,800時間以上			4		0	0	0	0
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了 ※ 4 ※ 9	3	1	2	0	0	0				
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了 ※ 9	1	0	0	0	0					
指導員養成課程の指導員訓練修了 ※ 9	1	0	0	0	0					
職業訓練指導員免許取得	1	—	—	—	—	0				
高度養成課程の指導員訓練修了 ※ 9	0	—	—	—	—	0				

注) ※ 1 : 検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。(10ページ 別表参照)

※ 2 : 学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者並びに独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※ 3 : 大学入学資格付与課程、大学編入資格付与課程及び大学院入学資格付与課程の専修学校を除く。

※ 4 : 職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者はそれぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※ 5 : 総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※ 6 : 3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者も受検できる。(申請書の在学期間又は訓練期間欄の在学中、訓練中に○印を記入)

また、工業高等学校に在学する者等であって、かつ、工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定受検に際して安全衛生上の問題がないと判定された場合も受検できるので、所定の「確認書」の写し及び判定者の資格を裏付けのもの写しを申請書に添付すること。

※ 7 : 検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※ 8 : 当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

※ 9 : 職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練又は指導員訓練に準ずる訓練の修了者においても、修了した職業訓練又は指導員訓練の訓練課程に応じ、受検資格を付与する。

その他 下位等級合格後の実務経験年数で受検をする場合は、その証明となる合格証書のコピーを必ず添付すること。

13 試験の免除資格

試験の免除資格は、下表のとおりです。この免除資格を持っている方は、受検申請の際その資格を証明する書類のコピーを添付して試験の免除申請をしてください。(受付期間後に免除申請の申し出をしても受け付けられません。)

保有している資格	免除の対象となる試験	免除に該当する検定職種・作業	免除の等級	備考
技能検定に合格した方 (技能士の資格あり)	1級	同一の「検定職種」	1級・2級・3級	例) 1級の普通旋盤作業技能検定に合格されている方は(技能士となっている)1級のフライス盤作業を受検する場合の学科試験は免除となる。
	2級		2級・3級	
	3級		3級	
	単一等級		単一等級	
技能検定において、 学科試験に合格した方	特級	同一の「検定職種」	特級	免除が受けられる期間は合格日より5年間
	1級	同一の「検定作業」	1級・2級・3級	合格した学科試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	2級		2級・3級	
	3級		3級	
単一等級	単一等級			
指導員試験に合格した方、又は指導員免許を取得した方		相当する検定職種	1級・2級・3級・単一等級	10ページ別表参照
普通課程の普通職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	2級・3級	
	技能照査合格後実務経験2年以上(2800H以上は1年)		2級・3級・単一等級	
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	2級・3級	
	技能照査合格後実務経験1年以上		2級・3級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験4年以上		1級・2級・3級・単一等級	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練において技能照査に合格した方 ※1	技能照査合格後実務経験0年	相当する検定職種	2級・3級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験2年以上		1級・2級・3級・単一等級	
	技能照査合格後実務経験5年以上		特級・1級・2級・3級・単一等級	
短期課程の普通職業訓練において(通信訓練)修了時試験に合格して修了した方 ※1	1級技能士コース	相当する検定職種	1級・2級・3級	
	2級技能士コース		2級・3級	
	単一等級技能士コース		単一等級	
製菓衛生師法による製菓衛生師試験に合格した方		菓子製造職種	1級・2級	学科試験のうちの食品一般及び菓子一般
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した方又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた方		建築大工職種	1級・2級	
		ブロック建築職種	1級・2級	
		枠組壁建築職種	単一等級	
建築士法による木造建築士試験に合格した方又は木造建築士の免許を保有する方		建築大工職種	1級・2級	
		枠組壁建築職種	単一等級	
全国障害者技能競技大会学科部門の技能証を保有する方		相当する検定職種	2級・3級	※2
中央技能検定委員を2年以上経験した方		同一の検定職種	1級・2級・3級・単一等級	委嘱された試験科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
技能検定において、 実技試験に合格した方	特級	同一の「検定職種」	特級	免除が受けられる期間は合格日より5年間
	1級	同一の「検定作業」	1級・2級・3級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
	2級		2級・3級	
	3級		3級	
	単一等級		単一等級	
技能五輪全国大会における技能証を保有する方		相当する検定職種	1級・単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
技能五輪地方大会(予選会)における技能証を保有する方 ※2		相当する検定職種	2級・3級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
全国障害者技能競技大会実技部門の技能証を保有する方 ※2		相当する検定職種	2級・3級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
中央技能検定委員を2年以上経験した方		相当する検定職種	1級・2級・3級・単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
都道府県技能検定委員又は指定事業主団体技能検定委員を2年以上経験した方		相当する検定職種	1級・2級・3級・単一等級	合格した実技試験と同一の科目(同一の「作業」)を選択する場合に限る。
東京商工会議所が行う和裁に関する技能検定に合格した方	1級	和裁職種	1級・2級	
	2級		2級	

※1：職業能力開発促進法第92条に規定する職業訓練に準ずる訓練における技能照査又は修了時試験の合格者においても、技能照査又は修了時試験に合格した職業訓練の訓練課程に応じて、試験を免除する。

※2：平成16年10月21日が有効期限内である技能証は、その有効期限が過ぎたものであっても有効(H16厚労告376附則第2項及び第3項)

その他 免除資格について不明な点は、当協会までお問い合わせください。

別表

受検資格に関する卒業関連学科・訓練科、指導員免許職種は次のとおりです。

検定職種	学科・訓練科の例 ※	指導員免許職種
造 園	造園科	造園科、森林環境保全科
さ く 井	土木科、地学科	さく井科
鍛 造	金属工学科、機械科	鍛造科
機 械 加 工	機械科	機械科
工 場 板 金	機械科	塑性加工科
機 械 検 査	機械科	機械科
電 子 機 器 組 立 て	電子科、電気科	電子科
電 気 機 器 組 立 て	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
シ ー ケ ン ス 制 御	電子科、電気科	電気科、メカトロニクス科
半 導 体 製 品 製 造	機械科、電子科、電気科	電子科
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	電子科、電気科	該当なし
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	機械科、電気科、造船科、自動車科	鉄道車両科
時 計 修 理	機械科、電子科、電気科	時計科
光 学 機 器 製 造	機械科、物理学科	光学ガラス科、光学機器科
空 気 圧 装 置 組 立 て	機械科	該当なし
農 業 機 械 整 備	機械科	農業機械科
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	設備科	冷凍空調機器科
和 裁	被服科、服飾科、和裁科	和裁科
プ リ プ レ ス	印刷科	製版・印刷科
製 本	印刷科	製本科
プ ラ ス チ ッ ク 成 形	機械科、電気科、工業化学科	プラスチック製品科
パ ン 製 造	菓子科、製パン科	パン・菓子科
菓 子 製 造	菓子科、製菓科	パン・菓子科
み そ 製 造	発酵科、農芸化学科	発酵科
建 築 大 工	建築科、大工科	建築科、枠組壁建築科
か わ ら ぶ き	建築科	屋根科
配 管	機械科、造船科、建築科	配管科、住宅設備機器科
型 枠 施 工	建築科、土木科	建設科
鉄 筋 施 工	建築科、土木科	建設科
コ ン ク リ ー ト 圧 送 施 工	建築科、土木科	建設科
防 水 施 工	建築科	防水科
樹 脂 接 着 剤 注 入 施 工	建築科	該当なし
ガ ラ ス 施 工	建築科	サッシ・ガラス施工科
機 械 ・ プ ラ ン ト 製 図	機械科、金属工学科、溶接工学科、 化学工学科、工業化学科	機械科
金 属 材 料 試 験	金属工学科、機械科	熱処理科
塗 装	建築科、工芸科、塗装科	塗装科

※ 詳細については、当協会までお問い合わせください。

14 技能五輪長野県地方大会（予選会）

技能五輪全国大会とは、青年技能者の技能水準を高めるとともに、技能者の社会的評価の向上を目的に、各都道府県の地方大会等から選抜された各職種の手により技能を競う大会であり、毎年開催されています。

技能五輪長野県地方大会は、技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜する予選会として技能検定実技試験と同時に実施し、優秀な成績を収めた者の中から、全国大会に参加する者を長野県職業能力開発協会長が推薦します。

(1) 競技職種及び参加料

ア) 今回の技能五輪長野県地方大会（予選会）を実施する職種は次のとおりです。

イ) 電工を除く競技課題は2級技能検定の実技試験課題を使用します。

ウ) 電工の競技課題は、中央職業能力開発協会の準備課題を使用します。

エ) 新規・継続参加に関わらず参加希望者は、全員 技能五輪長野県地方大会（予選会）に参加して頂き、その中から成績優秀者を全国大会に推薦します。

長野県地方大会競技職種	全国大会競技職種	参加手数料 (受検手数料は非課税です。ただし振込手数料などは課税対象です。)	
		在校生* (平成13年(2001年)4月2日以降に生まれた方)	左記以外の方
時計修理作業	時計修理	9,200円	18,200円
冷凍空気調和機器施工作業	冷凍空調技術		
大工工事作業	建築大工		
建築配管作業	配管		
機械製図CAD作業	機械製図		
電工	電工	18,200円	

*「在校生」については2ページの注)4、5を参照してください。

オ) 上記表以外の職種に参加を希望される方は、当協会にお問い合わせ下さい。

(2) 参加資格

技能五輪長野県地方大会の参加資格は、8ページ：「12 受検資格」に関係なく平成14年（西暦2002年）1月1日以降に生まれた方で長野県内に在住、又は県内の事業所・職業訓練施設・学校等に所属しており、事業主（職業訓練施設長、学校長）の推薦のある方。

・所属事業所代表者の推薦の印

申請書の左下に所属事業所代表者の推薦の印を必要とします。

なお、技能五輪長野県地方大会参加（予選会）を申請される方で2級技能検定の受検資格のある方は、2級技能検定を兼ねて申請することができます。

(この場合学科を受検する方は、学科試験の手数料3,100円が必要です。)

(3) 受付期間

(4) 実施日程

(5) 問題公表及び場所

(6) 申請書の提出

1・2級技能検定と同じです。

(4ページ：「4 実施職種（作業）及び実施日」を参照願います。)

『技能五輪長野県地方大会参加申請書』（黄色申請書）を提出してください。

なお、2級と合わせて申請する場合は、受検申請書の左上の「2級技能検定 兼 技能五輪」の□欄にレ印を記入してください。(6ページ：「5 受検申請の手続き」を参照願います。)

(7) 特典

上記競技職種の技能五輪長野県地方大会（予選会）のみの参加者において合格点以上の成績を収めた方に対しては、長野県職業能力開発協会長から技能証を交付します。(2級受検の際、実技試験が免除されます。)

(8) 表彰

技能五輪長野県地方大会（予選会）において成績優秀者は、各職種ごとに長野県知事又は長野県職業能力開発協会長から表彰されます。

郵便料金にご注意ください。9月30日発送分までは、1名分 切手140円

15 受検申請書・受検案内書等の請求と問い合わせ先

- 長野県職業能力開発協会・検定課…………〒380-0836 長野市大字南長野南県町688-2
TEL 026-234-9050 FAX 026-234-9280
- 長野県産業労働部産業人材育成課…………〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2
TEL 026-235-7202 FAX 026-235-7328

・受検申請用紙等の郵送を希望する場合は、返信用A4封筒（1名分、切手180円を貼ったもの。2名分以上の場合は当協会にご相談ください。）を同封のうえ、職種、級別、電話番号を記載して、封筒の表面に「技能検定受検申請書用紙請求」と朱書きし、当協会に請求してください。

なお、次の各職業能力開発施設等においても、申請書等の書類を配布していますが、検定試験内容等の詳細につきましては、当協会にお問い合わせください。

施設名	郵便番号	住所	電話番号
東信地区			
佐久技術専門学校	385-0042	佐久市高柳 346-4	0267-62-0549
佐久高等職業訓練校	385-0042	佐久市高柳 354-2	0267-62-2276
長野県工科短期大学校	386-1211	上田市下之郷 813-8	0268-39-1111
上田地域高等職業訓練センター	386-0027	上田市常磐城 1-3-20	0268-75-7690
坂城町中小企業能力開発学院	389-0601	埴科郡坂城町坂城 10051	0268-82-3351
北信地区			
長野技術専門学校	388-8011	長野市篠ノ井布施五明 3537	026-292-2341
ポリテクセンター長野	381-0043	長野市吉田 4-25-12	026-243-1001
長野共同高等職業訓練校	381-0022	長野市大豆島 4034	026-221-0505
長野地域職業訓練センター			
北信州能力開発センター	383-0013	中野市中野 1457-1	0269-23-3005
飯岳高等職業訓練校	389-2234	飯山市木島 662-1	0269-62-5301
中信地区			
松本技術専門学校	399-0011	松本市寿北 7-16-1	0263-58-3158
ポリテクセンター松本	399-0011	松本市寿北 7-17-1	0263-58-2905
松本市中小企業能力開発学院	390-8503	松本市中央 1-23-1	0263-32-5350
長野県建設訓練協会 建設職業訓練センター	390-0864	松本市宮湖本村 1-2 建労会館	0263-39-7200
大北高等職業訓練校	398-0002	大町市大町 1058-13	0261-22-2050
上松技術専門学校	399-5607	木曾郡上松町小川 3540	0264-52-3330
南信地区			
岡谷技術専門学校	394-0004	岡谷市神明町 2-1-36	0266-22-2165
長野県南信工科短期大学校	399-4511	上伊那郡南箕輪村 8304-190	0265-71-5051
駒ヶ根商工会議所	399-4191	駒ヶ根市上穂栄町 3-1	0265-82-4168
飯田技術専門学校	395-0823	飯田市松尾明 7508-3	0265-22-1067
飯田高等職業訓練校	395-0017	飯田市東新町 2-30	0265-23-5844

個人情報の保護について

当協会は、技能検定に関連して皆様より御提供いただいた個人情報について、個人情報保護に関する法令・規範を遵守し、慎重かつ適切に取り扱います。

1 個人情報の利用目的

技能検定に関して当協会が収集した個人情報については、長野県産業労働部産業人材育成課の指導・監督により、厚生労働省が「技能検定関係事務手続き」に定める業務に限定して利用いたします。

2 個人情報の共同利用について

当協会が保有する個人情報は、技能検定事業に協力する職業能力開発施設並びに関係業種団体等共同で利用する場合があります。

この場合は、共同利用先においても利用目的を限定し秘密保持などについて、適切な管理等を行います。

17 申請書記入例（左側）

※6 ページ、「5 受検申請の手続き」とあわせてご覧ください。

※申請書は本人が記入し申請してください。

※必ず「楷書」で記入してください。（略字は使用しないでください。）

※インキ、ボールペンで記入してください。（鉛筆、消えるボールペンは使用しないでください。）

(1) 受検申請日

長野県職業能力開発協会に提出（または送付）する日付（10月7日～10月18日）を記入してください。

(2) 減免対象の有無

本案内書により減免の対象となる条件を確認のうえ、対象となる方は「有」に、該当しない場合は「無」に○を付けてください。（2～3 ページ参照）

(3) 職種番号、作業番号、職種名、作業名

受検案内の4～5 ページ、「4 実施職種（作業）及び実施日」を参照し、正確に記入してください。

(4) 住所

- ・自宅の住所を記入してください。
- ・受検票等はこの住所に送付します。

(5) 連絡先電話番号

申請書の内容に不明な点がある場合や、試験に関する緊急の連絡がある場合等に、電話連絡をする場合がありますので、日中連絡ができる電話番号を記入してください。

(6) 学歴

- ・最近のものを一番上に記入してください。
- ・在学履歴の該当欄に○を付けてください。

(7) 訓練歴

- ・職業訓練歴は、最近のものを一番上に記入してください。
- ・訓練歴のある方は訓練履歴の該当欄に○を付けてください。
- ・技能照査合格で学科試験の免除申請をする場合は、必ず記入してください。

(8) 職歴

- ・現在のものから順に、職歴を記入してください。
- ・受検にあたり、実務経験が必要な場合は、職務内容の欄は、検定職種との関連がわかる仕事（業務）の内容を具体的に記入してください。（「一般職」、「営業」、「事務職」などは実務経験として認められません。）
- ・通算の実務経験年数が、受検に必要な年数を満たすか確認して記入してください。

(9) 1・2・3級合格者

- ・下位等級合格後の実務経験年数で受検申請をする場合は、合格した職種名、作業名、合格年月日、技能士番号を正確に記入し、合格証書のコピーを必ず添付してください。
- ・特級の受検申請は必ず1級の合格証書のコピーを添付してください。
- ・合格証書等の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

(10) 試験の免除

- ・試験の免除を受けることのできる記号を○で囲んで、資格の名称、取得年月日、合格通知番号を正確に記入してください。（例 合格通知番号：長野○○○○）
- ・証明書（合格通知ハガキ等）のコピーを必ず添付してください。
- ・合格証書等の氏名と現在の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。

記入漏れ等はありませんか？ 20ページのチェックシートでご確認ください。

2 級 技 能 検 定 申 請 書

長野県知事様
技能検定を受検したいので申請します。

令和 6年 10月 7日

氏名 **信州太郎**

職種番号 **038** 職種名 **建築大工** 受検番号 **減免対象の有無** (注①)

作業番号 **010** 作業名 **大工工事** ※ **有** ・ **無** (○)

フリガナ **シンシュウ タロウ** 昭和(S) **10**年 **10**月 **1**日 性 別 **男(M)**
氏名 **信州太郎** (年令) (満 **26**年 **0**月) 女(F)

住所 **380-0803** 自宅電話 (**026**-△△△-0000) 携帯電話 (**090**-××××-××××)

長野県長野市大字南長野0000職能ハイツ305

学 歴	学 校 名	学 科 又 は 課 程	所 在 地	在 学 履 歴			
		長野西部高等学校	普通科	長野県長野市0000	在学中	卒業	<input checked="" type="radio"/>
				全日制	<input checked="" type="radio"/>	定時制・通信教育	
				在学期間	H26 年 4 月 ~ H29 年 3 月		
				在学期間	年 月 ~ 年 月	卒業	中退

訓 練 履 歴	訓 練 施 設 名	訓 練 科 目	所 在 地	訓 練 履 歴			
					訓練中	修了	
				訓練期間	年 月 ~ 年 月		
					修了		中退
				訓練期間	年 月 ~ 年 月		

資 格 履 歴	事 業 所 名	職 務 (作 業) 内 容	所 在 地	在 職 期 間	
		(現在の在職先) (株) 検定工務店	大工	〒(380 -××××) 長野県長野市000町 電話 (026 -000-××××)	H29 年 4 月 ~ R6 年 10 月 (7 年 6 月)
				年 月 ~ 年 月 (年 月)	
				年 月 ~ 年 月 (年 月)	
				年 月 ~ 年 月 (年 月)	

3級技能検定合格 (受検資格にかかわるものは必ず記入し、証書のコピーを添付してください)			受検資格	※
(3 級)	職 種 (作業)	合格年月日	年 月 日	判 定
()		技能士番号	号	

試 験 の 免 除	資格の名称 (該当するものを○でかこむ)		取得地	取得年月日・番号 (コピーを添付)	免除資格判定
	実技試験	1. 実技試験合格 8. 商工会和裁 9. その他	6. 技能証 7. 技能検定委員	都道府県	作業名 [] 年 月 日 号
学科試験	1. 学科試験合格 3. 技能照査合格 5. () 級技能士コースの普通訓練終了 7. 技能検定委員 (中央協会)	2. 技能検定合格 (同一職種) 4. 職業訓練指導員免許 9. その他 ()	長野 都道府県	作業名 [大工工事] R3 年 3 月 ×× 日 0000 号	学科試験 ※

注① 減免対象の有無については、技能検定受検案内の「受検手数料」の項を参照ください。
 ② 減免の有無に関係なく受検申請者全員が、本人確認書類を右票の(本人確認書類添付欄)に貼り付け添付してください。ちなみに、本人確認書類が添付されていない場合は申請受付ができませんので注意してください。
 ③ 個人情報の第三者への提供について
 技能検定試験業務及び講習会等の案内のため、試験会場・関係団体及び関係企業等へ氏名・住所・電話番号・勤務先を知らせることをご了承ください。

◎裏面の記入上の注意をよく読んでから記入してください。

- (1) (左表)
- (2) ※印の欄は記入しないこと
- (3) 職種番号、作業番号
- (4) 住所
- (5) 学歴
- (6) 訓練履歴
- (7) 資格履歴
- (8) 資格履歴
- (9) 資格履歴
- (10) 試験の免除

申請書記入例（右側）

※6ページ、「5 受検申請の手続き」とあわせてご覧ください。

※申請書は本人が記入し申請してください。

※必ず「楷書」で記入してください。（略字は使用しないでください。）

※インキ、ボールペンで記入してください。（鉛筆、消えるボールペンは使用しないでください。）

(11) 事業所名（学校名）

- ・事業所名又は学校名を記入してください。
- ・在校生（2ページ、注）4に該当する方）は、学校名と「在学中」又は「訓練中」と記入してください。

(12) 受検区分

- ・試験免除の有無等により、受検しようとする受検区分を○で囲んでください。
- ・受検される受検手数料を記入してください。（2～3ページ、「2 受検手数料」を参照願います。）

(13) 写真（モノクロでも可）

- ・写真は、本人と確認ができるよう帽子、サングラス等の着用のないものにしてください。
なお、写真の裏に級別、受検作業名、氏名を記入し、必ずノリ付けしてください。
- ・デジタルカメラ等で撮影したものは、縦横の倍率の整ったものを使用してください。
- ・実技試験、学科試験の両方免除の方（受検区分D）の写真は不要です。

(14) 事業所名称（学校名）、事業所名称（学校名）住所

- ・14ページ、(8)職歴と同じ事業所名（学校名）、住所を記入してください。
- ・在校生・訓練生（2ページ、注）4に該当する方）は、学校名を記入してください。

(15) 領収書

受検手数料を銀行振込みし、「銀行領収印」のある「申請書添付用領収書」を必ずノリ付けしてください。

(16) 本人確認書類

申請者全員が、本人確認書類のコピーを必ず貼ってください。

- ① 運転免許証、個人番号カード（個人番号が記載されている箇所は黒塗りすること。）その他の日本の官公庁が発行した身分証明書（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。）のいずれか
- ② 特別永住者証明書、在留カードのいずれか
- ③ 健康保険被保険者証
- ④ 生徒手帳、学生証のいずれか（氏名及び生年月日が確認できるものに限る。）
- ⑤ 外国政府が発行した旅券（写真欄及び日本国査証欄）

※なお、本人確認書類が添付されていない場合は、受付ができませんので注意してください。

記入漏れ等はありませんか？ 20ページのチェックシートでご確認ください。

(右表)

2 級 試験 写真 A

職種番号	038	職種名	建築大工
作業番号	010	作業名	大工工事
受験番号	※		
フリガナ	シンシュウ タロウ		
氏名	信州太郎		



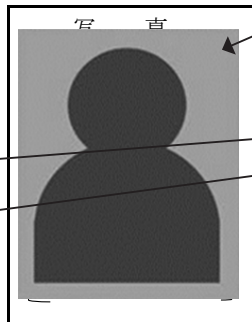
試験名	試験中
※ 学科試験	※ 押印 出・欠
※ 計画立案等 作業試験	※ 押印 出・欠

(切りはなしてはいけません)

(右表)

2 級 試験 写真 B

職種番号	038	職種名	建築大工
作業番号	010	作業名	大工工事
受験番号	※		
フリガナ	シンシュウ タロウ		
氏名	信州太郎		
事業所名 (学校名)	(株)検定工務店		
事業所 (学校) 住所	(〒 380-XXXX) 長野県長野市 〇〇〇町 (TEL 026-000-XXXX)		



試験名	試験前	試験中	
※ 政策等作業 ・計画立案等作業	※ 押印 出・欠	※ 押印 出・欠	*該当する試験名(製作・計画 立案・判断)に○ *試験前欄、試験中欄の出・欠 に○ *試験前、試験中の写真確認者 が押印する
※ 計画立案等作業 ・判断等	※ 押印 出・欠	※ 押印 出・欠	

受験資格判定	免除資格判定		手数料取納済印	
※	実技試験	学科試験	実技試験	学科試験
	※	※	※	※

(右表)

2 級

職種名	建築大工
作業名	大工工事
住所	長野県長野市大字南長野 〇〇〇 職能ハイツ305
氏名	信州太郎
事業所名 (学校名)	(株)検定工務店

受験する区分に○をし、受験手数料を記入してください。

受験区分	備考
A甲	実技・学科試験の両方を受検
A乙	学科試験のみ受検希望
A丙	実技試験のみ受検希望
B	実技試験免除で学科試験を受検*
C	学科試験免除で実技試験を受検*
D	実技・学科試験の両方を免除*
受験手数料	実技 18200円 学科 0円 合計 18200円

*受験区分B, C, Dでは、免除の証明書添付が必要です。

申請書添付用領収書

(この用紙は、申請書へ貼って提出を
してください)

先方銀行	八十二銀行 県庁内支店		
受検料	実技試験	18200	円
	学科試験	0	円
振込金額	合計	18200	円
ご依頼人	フリガナ シンシュウ タロウ 信州太郎 様		
受取人	長野県職業能力開発協会 普通預金 口座No.76406		
備考			

上記のとおり貴殿あての振込みを取扱いましたから、ご通知いたします

年 月 日
株式会社 八十二銀行

(振込銀行→受検申請者→長野県職業能力開発協会)

(本人確認書添付欄)

氏名	信州太郎	平成 10年 10月 1 日 至
住所	長野県長野市大字南長野〇〇〇〇職能ハイツ305	
交付	平成 00年 00月 00日	
有効	20XX年(令和XX年)11月1日まで有効	
免許の条件等	眼鏡等 中型車は中型車(8)に限る	AT限定
優良	第 000000000000 号	
発行	平成 00年 00月 00日	公安委員会

18 年号対照・年齢・卒業年度早見表（参考）

申請書の受検資格（在学、訓練、在職期間）や年齢の記入の際、参考にしてください。

※年齢は誕生日以降の年齢です。誕生日前の年齢は「1」を引いてください。

※卒業年において早生まれ（1月～3月までに生まれた方）の方は前年をご覧ください。

生年		年齢	中学卒	高校卒	短大卒	大学卒	生年		年齢	中学卒	高校卒	短大卒	大学卒
和暦	西暦						和暦	西暦					
昭30年	1955	69	昭46年	昭49年	昭51年	昭53年	平2年	1990	34	平18年	平21年	平23年	平25年
31年	1956	68	47年	50年	52年	54年	3年	1991	33	19年	22年	24年	26年
32年	1957	67	48年	51年	53年	55年	4年	1992	32	20年	23年	25年	27年
33年	1958	66	49年	52年	54年	56年	5年	1993	31	21年	24年	26年	28年
34年	1959	65	50年	53年	55年	57年	6年	1994	30	22年	25年	27年	29年
35年	1960	64	51年	54年	56年	58年	7年	1995	29	23年	26年	28年	30年
36年	1961	63	52年	55年	57年	59年	8年	1996	28	24年	27年	29年	令元年
37年	1962	62	53年	56年	58年	60年	9年	1997	27	25年	28年	30年	2年
38年	1963	61	54年	57年	59年	61年	10年	1998	26	26年	29年	令元年	3年
39年	1964	60	55年	58年	60年	62年	11年	1999	25	27年	30年	2年	4年
40年	1965	59	56年	59年	61年	63年	12年	2000	24	28年	令元年	3年	5年
41年	1966	58	57年	60年	62年	平元年	13年	2001	23	29年	2年	4年	6年
42年	1967	57	58年	61年	63年	2年	14年	2002	22	30年	3年	5年	
43年	1968	56	59年	62年	平元年	3年	15年	2003	21	令元年	4年	6年	
44年	1969	55	60年	63年	2年	4年	16年	2004	20	2年	5年		
45年	1970	54	61年	平元年	3年	5年	17年	2005	19	3年	6年		
46年	1971	53	62年	2年	4年	6年	18年	2006	18	4年			
47年	1972	52	63年	3年	5年	7年	19年	2007	17	5年			
48年	1973	51	平元年	4年	6年	8年	20年	2008	16	6年			
49年	1974	50	2年	5年	7年	9年	21年	2009	15				
50年	1975	49	3年	6年	8年	10年	22年	2010					
51年	1976	48	4年	7年	9年	11年	23年	2011					
52年	1977	47	5年	8年	10年	12年	24年	2012					
53年	1978	46	6年	9年	11年	13年	25年	2013					
54年	1979	45	7年	10年	12年	14年	26年	2014					
55年	1980	44	8年	11年	13年	15年	27年	2015					
56年	1981	43	9年	12年	14年	16年	28年	2016					
57年	1982	42	10年	13年	15年	17年	29年	2017					
58年	1983	41	11年	14年	16年	18年	30年	2018					
59年	1984	40	12年	15年	17年	19年	令元年	2019					
60年	1985	39	13年	16年	18年	20年	2年	2020					
61年	1986	38	14年	17年	19年	21年	3年	2021					
62年	1987	37	15年	18年	20年	22年	4年	2022					
63年	1988	36	16年	19年	21年	23年	5年	2023					
平元年	1989	35	17年	20年	22年	24年	6年	2024					

19 技能検定試験問題集申込用紙

1・2級 技能検定 学科試験問題集

No	取録職種	定価	部数	金額
第4集	金属熱処理	2,420		
第11集	建築面製作/テクノロイラレーション	2,200		

(税込)

1・2級 新版・技能検定 学科試験問題解説集

No	取録職種	定価	部数	金額
No.2	配管	3,300		
No.3	塗装	3,300		
No.4	型枠施工	1,650		
No.5	鉄筋施工	2,200		
No.8	冷凍空調機器施工	2,750		
No.9	仕上げ	2,750		
No.10	機械・プラント製図	2,420		
No.11	機械検査	2,200		
No.12	機械加工	3,300		
No.13	造園	2,200		
No.14	金属プレス加工	2,200		
No.15	金属材料試験	2,860		

(税込)

1・2級 技能検定 試験問題集

No	取録職種	定価	部数	金額
1・2級試験問題集41 (平成26・27・28年度)	左官	1,650		
1・2級試験問題集43 (平成26・27・28年度)	金属熱処理	3,080		
1・2級試験問題集45 (平成26・27・28年度)	機械加工	3,320		
1・2級試験問題集50 (平成26・27・28年度)	かわらぶき	1,760		
1・2級試験問題集60 (平成27・28・29年度)	機械・プラント製図	1,980		
1・2級試験問題集62 (平成29・30・31年度)	プラスタック成形	2,090		
1・2級試験問題集63 (平成29・30・31年度)	造園	1,650		
1・2級試験問題集64 (平成29・30・31年度)	とび	1,650		
1・2級試験問題集65 (平成29・30・31年度)	金属熱処理	3,190		
1・2級試験問題集66 (平成29・30・31年度)	仕上げ	2,420		
1・2級試験問題集67 (平成29・30・31年度)	機械加工	3,740		
1・2級試験問題集69 (平成29・30・令和元年度)	建築大工	1,760		
1・2級試験問題集70 (平成29・30・令和元年度)	油圧装置調整	2,090		
1・2級試験問題集71 (平成29・30・令和元年度)	空気圧装置組立て	1,980		
1・2級試験問題集72 (平成30・31年度)	建設機械整備	1,870		
1・2級試験問題集73 (平成30・令和元・2年度)	防水施工	2,750		
1・2級試験問題集74 (平成30・令和元・2年度)	溶接	2,530		
1・2級試験問題集75 (平成30・令和元・2年度)	電気機器組立て	2,310		
1・2級試験問題集76 (平成30・令和元・2年度)	半導体製品製造	1,980		
1・2級試験問題集77 (平成30・令和元・2年度)	型枠施工	1,870		
1・2級試験問題集78 (平成30・令和元・2年度)	鉄筋施工	1,870		
1・2級試験問題集79 (平成30・令和元・2年度)	機械検査	2,090		
1・2級試験問題集80 (平成30・令和元・2年度)	機械・プラント製図	2,310		
1・2級試験問題集81 (平成30・31・令和3年度)	金属プレス加工	1,980		
1・2級試験問題集82 (令和元・2・3年度)	配管	1,870		
1・2級試験問題集83 (令和2・3・4年度)	建築板金	2,200		
1・2級試験問題集84 (令和2・3・4年度)	左官	1,760		
1・2級試験問題集85 (令和2・3・4年度)	熱線線施工/冷凍空調機器施工	2,420		
1・2級試験問題集86 (令和2・3・4年度)	建築大工	1,870		
1・2級試験問題集87 (令和2・3・4年度)	油圧装置調整	2,090		
1・2級試験問題集88 (令和2・3・4年度)	空気圧装置組立て	2,090		
1・2級試験問題集89 (令和3・4・5年度)	プラスタック成形	2,860		
1・2級試験問題集90 (令和3・4・5年度)	造園	1,760		
1・2級試験問題集91 (令和3・4・5年度)	とび	1,870		
1・2級試験問題集92 (令和3・4・5年度)	金属熱処理	3,410		
1・2級試験問題集93 (令和3・4・5年度)	仕上げ	2,530		
1・2級試験問題集94 (令和3・4・5年度)	建設機械整備	2,200		
1・2級試験問題集95 (令和3・4・5年度)	溶接	2,970		
1・2級試験問題集96 (令和3・4・5年度)	機械検査	2,200		

(税込)

3級技能検定試験問題集

令和2・3年度版	3級技能検定試験問題集 第1集	定価	部数	金額
室内面着色シーリング工事、音響機調整、骨格写真デジタル作業、商品裝飾展示、フラワー装飾、冷凍空調機器施工、射出成形、鋳造物鋳造、曲げ板金/打ち出し板金、左官、金属塗装、コンクリートプロック工事、家具手加工、鉄筋組立て、鉄筋施工図作成、型枠工事		1,650		
令和2・3年度版 <th>3級技能検定試験問題集 第2集</th> <td></td> <td></td> <td></td>	3級技能検定試験問題集 第2集			
一般熱処理/浸炭・浸炭硬化・密化処理/高周波・炎熱処理、普通旋盤/フライス盤/平面研削盤、数値制御旋盤/マシニングセンター/電気めっき、機械組立仕上げ、機械検査、電子機器組立て、配電盤・制御盤組立て/シーケンス制御、プリント配線板設計/プリント配線板製造、機械製図/電気図/機械製図CAD、配電盤・制御盤組立/電気図/機械製図CAD、重産形内燃機組立、テクノロイラレーション/テクノロイラレーションCAD、化学分析		1,650		
平成30・31・令和元年度版 <th>3級技能検定試験問題集 第1集</th> <td></td> <td></td> <td></td>	3級技能検定試験問題集 第1集			
室内面着色シーリング工事、音響機調整、骨格写真デジタル作業、商品裝飾展示、フラワー装飾、冷凍空調機器施工、射出成形、鋳造物鋳造、曲げ板金/打ち出し板金、左官、金属塗装、コンクリートプロック工事、家具手加工、鉄筋組立て、型枠工事		1,650		
平成30・31・令和元年度版 <th>3級技能検定試験問題集 第2集</th> <td></td> <td></td> <td></td>	3級技能検定試験問題集 第2集			
一般熱処理/浸炭・浸炭硬化・密化処理/高周波・炎熱処理、普通旋盤/フライス盤/平面研削盤、数値制御旋盤/マシニングセンター/電気めっき、機械組立仕上げ、機械検査、電子機器組立て、配電盤・制御盤組立て/シーケンス制御、プリント配線板設計/プリント配線板製造、機械製図/電気図/機械製図CAD、重産形内燃機組立、テクノロイラレーション/テクノロイラレーションCAD、化学分析		1,650		

(税込)

特級技能検定試験問題集

令和元年度特級技能検定試験問題集 第1集	定価	部数	金額
特級技能士のための管理・監督の知識	3,960		
令和元年度特級技能検定試験問題集 第2集	1,870		
鍛造、金属熱処理、機械加工、放電加工、金型製作、金属プレス加工、工場検査、電子機器組立て、電気機器組立て、半導体製品製造、内燃機組立、空気圧装置調整			
令和元年度特級技能検定試験問題集 第2集	1,870		
めっき、仕上げ、機械検査、ダイカスト、プリント配線板製造、光学機器製造、建設機械整備、婦人子供服製造、紳士服製造、プラスタック成形、パン製造			

(税込)

※令和3年度特級技能検定試験問題集(第1集・第2集)は発行されません。

合計	冊	円
----	---	---

技能検定 試験問題集 申込用紙

送付先	〒
氏名	TEL

- (1) 住所は〇〇ハイウェイ〇〇マンション 〇〇号室まで、はっきりと記入してください。また、事業所でもとりまごめとめて申し込む場合は、宛先となる事業所名と代表者の部署・氏名を記入してください。
- (2) 本申込書に数量と金額を記載し、FAXで下記番号あてに注文してください。
- (3) 注文いただいた日から、発送まで1週間ほどかかります。なお、運送料、お昼、年末年始の時は当協会にお問い合わせください。
- (4) 冊子の送料は、着払いにてご負担ください。
- (5) 冊子の代金は、冊子と同封の振込用紙にて振込してください。

申込先：長野県職業能力開発協会
〒380-0836 長野市大字南長野南町688-2 TEL 026-234-9050

【注文FAX番号】 026-234-9280

20 技能検定受検申請内容変更連絡書

【コピーしてご使用ください】

令和 年 月 日

長野県職業能力開発協会 検定課 行

FAX : 026 - 234 - 9280

技能検定 受検申請内容変更連絡書

受検者氏名		受検級	級
受検職種		受検番号	
受検作業名			

変更事項に○		変更前	変更後
フリガナ	氏名		
	フリガナ		
自宅住所	〒 -	〒 -	
連絡先(自宅)	- -	- -	
	(携帯)		
勤務先			
勤務先住所	〒 -	〒 -	
勤務先電話番号	- -	- -	
その他			

届出者氏名(注3)	
届出者住所	
届出者連絡先	- -

注1. 受検申請書の記載事項に変更が生じた場合には該当する事項にご記入のうえ、当協会宛に郵送又はFAXによりご連絡をお願いいたします。

注2. 氏名が変更になった場合は、戸籍抄本(写し)を添付してください。

注3. 届出者が受検者の場合は届出者氏名への記載は不要です。但し、住所、連絡先はご記入ください。

21 申請書提出時の確認事項(チェックシート)

確認事項	チェック
○本人確認書類(運転免許証、学生証等)のコピーが貼られていますか?	
○受検手数料は正しいですか? 実技試験2級、3級の受検者及び技能五輪予選会の参加者は受検手数料又は参加手数料が減額される場合があります。(受検案内2ページ、11ページ)	
○受検する職種番号・職種名・作業番号・作業名は正しいですか?	
○職歴及び在職期間は、受検に必要な実務経験年数が記入されていますか?(該当者のみ)	
○職歴欄には検定職種との関連がわかる仕事(業務)の内容が記入されていますか?(該当者のみ)	
○試験の免除がある場合、資格の免除記載及び証書のコピーが添付されていますか?	
○受検手数料を銀行振り込みした際の「申請書添付用領収書」が貼られていますか?	
○その他必要事項は、全て記入されていますか?	